

経営概要書

法人名 **大館能代空港ターミナルビル株式会社** 株13

代表者名	小畑 元	所管部課名	建設交通部建設交通政策課
所在地	鷹巣町脇神字藁岱21番地144	設立年月日	平成7年11月16日

【沿革、及び、県の出資理由】

空港ターミナルビルは公共交通を担う施設であり、高い公共性が求められることから、平成7年県を主体とする地方自治体及び経済界の出資のもと、第3セクター方式の株式会社として設立された。

【出資者】(13年度末) (百万円、%)

区分	団体数	出資額	構成比
秋田県	1	149	30.0
市町村	18	106	22.0
その他	21	240	48.0
計	40	495	100.0

【事業】

主たる業務

1. 空港ターミナルビル及び付帯施設の賃貸業
2. 広告、宣伝業
3. 煙草、郵便切手、収入印紙等の販売
4. 損害保険代理業等役務提供業務

事業実績 (百万円、人)

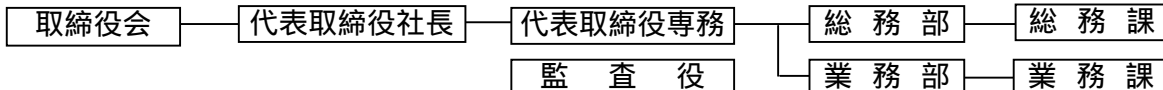
事業名等	11年度	12年度	13年度
不動産事業	230	232	228
付帯事業	34	33	33
国内線搭乗者数	151,138	138,832	160,142

13年度事業概要、及び、14年度事業計画・目標

13年度事業も堅調のうちに推移し、3期連続の単年度黒字を計上することができた。14年度は、これまでの経営実績を生かし当年度での累積赤字の解消(黒字転換)を目標とする。また、航空旅客の伸びも著しいことから、関係機関と緊密に連携しながら空港及び航空旅客の増進に努めていく。

【組織】

運営機構



役員数

	取締役監査役 (人)	
常勤	1	
内、県OB	1	
非常勤	7	2
内、県OB		
内、県職員	1	
計	8	2
内、県関係者	2	

職員数(H13.4.1現在) (人)

正職員	3	正職員平均年齢	36.0歳
内、県OB			
出向職員	1	正職員平均勤続年数	4年
内、県職員			
臨時・嘱託	2		
内、県OB			
計	6		
内、県関係者			

【財務】

損益状況(13年度)

(百万円)

	金額
経常収入 A	261
受託事業収入	
補助金収入	
自主事業収入	261
運用益収入	
その他	
経常支出 B	231
人件費	40
その他	191
経常損益 C = A - B	30
経常外収入	
経常外支出	8
当期損益	22

財務状況(13年度末)

(百万円、%)

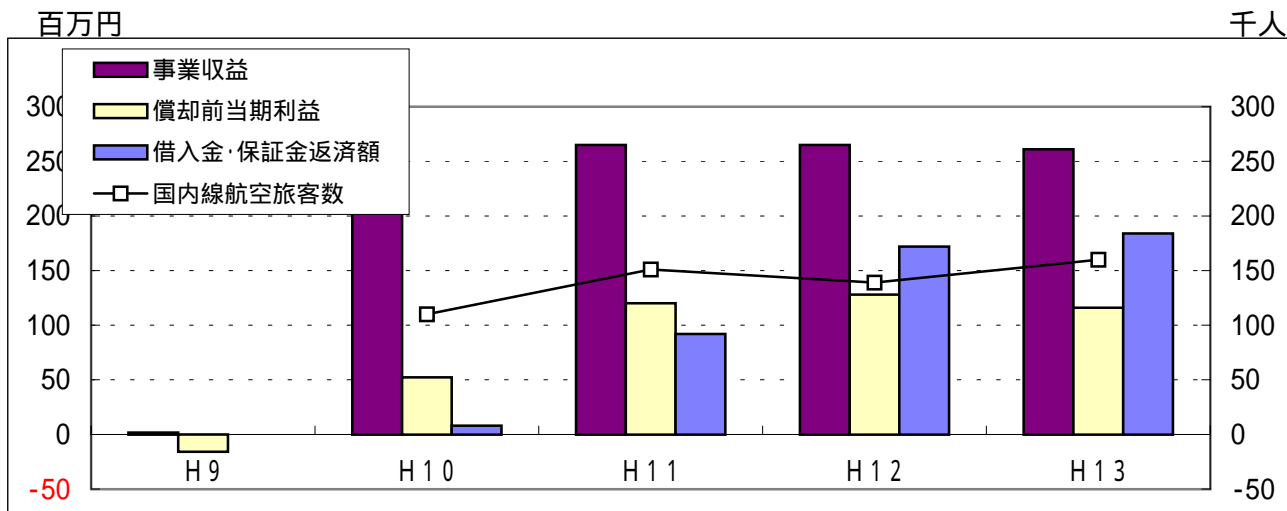
	金額	構成比
流動資産	109	6.5
固定資産	1,559	93.5
繰延資産		0.0
資産計	1,668	100.0
流動負債	97	5.8
短期借入金	66	4.0
固定負債	1,089	65.3
長期借入金	1,063	63.7
引当金等	4	0.2
負債計	1,186	71.1
資本金	495	29.7
剰余金	-13	-0.8
資本計	482	28.9
負債・資本計	1,668	100.0

【県の財政支出】

(千円)

	11年度	12年度	13年度	支出目的・対象事業概要等
補助金				
委託費				
貸付残高	291,114	268,154	245,194	空港ターミナルビルの建設(ふるさと融資)

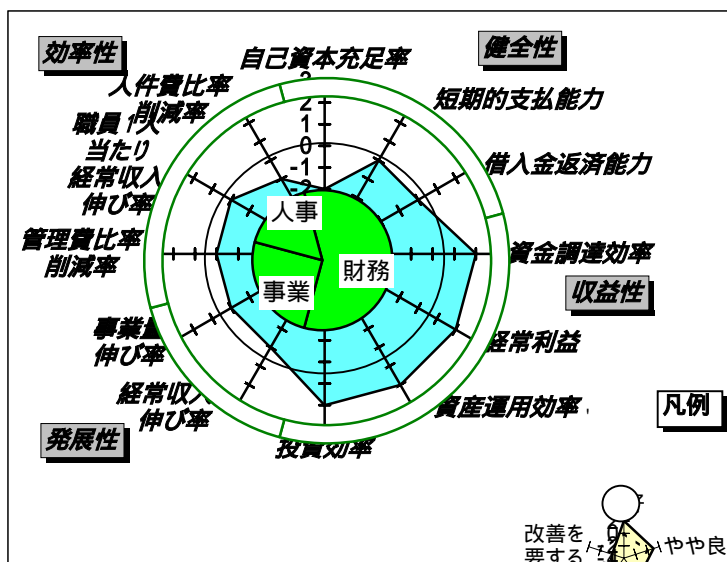
【事業等の推移】(過去5年度)



【諸比率等】(13年度)

【各評価項目レーダーチャート】

自己資本比率	28.90 %
流動比率	111.54 %
借入金返済年数	9.78 年
支払利息比率	10.49 %
経常利益率	11.67 %
総資本回転率	0.16 回
総資本利益率	1.82 %
経常収入額	260,756 千円
事業量(不動産事業収入)	228,171 千円
管理費比率	98.49 %
職員1人当り経常収入額	45,349 千円
人件費比率	15.47 %



【経営概況、経営上の課題・問題点等】

空港の開港に伴い営業開始してから4年目となり業務も順調に推移し3期連続で単年度黒字を計上することができた。また航空旅客も前年度比15%増と大幅な伸びをみせている。国内及び地域経済の低迷や、航空業界の再編など経営環境は厳しいが黒字体質を維持し、今期(14年度)で累積赤字を解消し、経営基盤の磐石化に努める。

【経営評価】

概ね安定した経営内容	一層の努力を要する経営内容
引き続き黒字経営の継続により、経営基盤の一層の強化に努める必要がある。	